

Press Release(R1/7/2)

国際連携専攻(ジョイント・ディグリープログラム)第1期生が 連携大学へ渡航します

岐阜大学は、国際化の推進と教育研究力のさらなる向上を図るため、今年度から海外協定大学のインド工科大学グワハティ校（IITG）およびマレーシア国民大学（UKM）とそれぞれ協働し、4つの国際連携専攻(ジョイント・ディグリープログラム)を開設しました。

4つの専攻の一つである「自然科学技術研究科岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻（修士課程）」へは日本人学生4名（4名とも本学応用生物科学部卒業生）が入学し、現在、7月中旬からのIITG渡航に向けて、準備を進めています。

このたび、4名の学生が本学森脇久隆学長に対して、国際連携専攻へ入学するきっかけやIITG渡航に対する意気込み、自身の研究活動等について報告します。

ついては、当日の取材について、よろしくお願いします。

記

・日 時 令和元年7月9日（火） 13:30～14:00

・場 所 岐阜大学 本部棟3階 学長室

（3階廊下にご集合ください。）

<当日の参加者>

- ・国際連携専攻学生 4名
- ・森脇 久隆 （学長）
- ・鈴木 文昭 （理事（国際・広報担当）、副学長 グローカル推進機構長）
- ・植松 美彦 （工学部教授、グローカル推進機構国際協働教育推進部門長）
- ・海老原 章郎 （応用生物科学部教授、国際連携食品科学技術専攻（調整担当））
- ・柳瀬 笑子 （応用生物科学部准教授、国際連携食品科学技術専攻（調整担当））
- ・久米 徹二 （工学部教授、国際連携統合機械工学専攻（調整担当））
- ・リム リーフ （工学部教授、国際連携材料科学工学専攻（調整担当））
- ・野々村 晴子 （グローカル推進機構国際企画調整役）

【問い合わせ】

岐阜大学グローカル推進機構国際総務室
Tel 058-293-3351
E-mail kokusaik@gifu-u.ac.jp